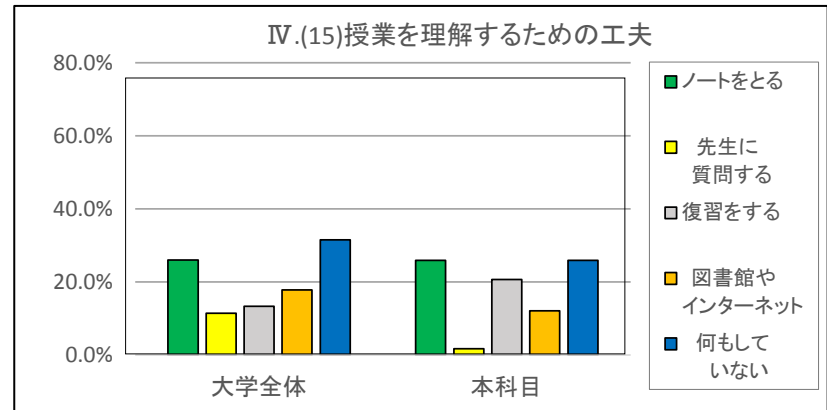


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	25.9%	1.7%	20.7%	12.1%	25.9%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.16	3.45
	I.(2)	3.38	3.56
	I.(3)	2.60	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.98	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.14	3.33
	II.(8)	3.09	3.42
	II.(9)	2.91	3.30
	II.(10)	3.00	3.23
	II.(11)	2.78	3.21
	II.(12)	3.24	3.48
	II.(13)	3.07	3.45
満足度	II.(14)	3.14	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.05	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.03	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.14	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	14202
科目名	老年看護学概論
教員名	吉村 雅世

①授業計画の達成度について

授業計画は、国家試験出題基準に準拠し内容を構成している。授業は計画の通りに、ほぼ進行し、終了している。ほぼ毎回授業の始めに本日の学習目標を提示し、終了時、出席表にミニレポートを記述させ、学びの状況を確認し、次回にフィードバックするなどしながら進めている。最終評価では、平均75点であり、学生の学びの達成状況からも、授業計画は達成できたと考える。

②授業の進め方について

学習範囲が広いと、予習・復習、自己学習が必要な必修科目である。毎回、学習目標を学生に提示し、授業終了時ミニレポートとして、学びを記述し提出させた。レポート内容はフィードバックし、学びの共有を計った。学生にとって未知の経験となる「若い」「高齢者」を実在的、現実的に理解できるよう、DVD視聴、課題グループワーク等を用い、授業を進めた。課題レポートは第1回目の授業で提示し、十分な自己学習の期間を設けた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

老年看護学としては、学生が持つ科目への興味を考えると、妥当な評価位置と考える。「若い」「高齢者」を現実的に実在的に理解し、看護を实践できる基礎知識を獲得できるよう、DVD、グループワーク、資料を工夫し、授業方法を考えていきたい。学生の「授業を理解するための工夫」から考えることは、学生が自主的に学ぶ意欲・姿勢を培う働きかけが必要と考えている。